

風しん予防接種を希望される方は、必ずお読みください。

風しんワクチン接種説明書



1. 風しんとは

風しんは、風しんウイルスによって起こる感染症で、「三日はしか」と呼ばれることがあります。感染者のくしゃみや咳などで飛び散った唾などによって飛沫感染し、潜伏期間は2～3週間程度です。発しん、リンパ節のはれ、発熱の3つが風しんの主な症状で、目が赤くなるといった症状が見られることもあります。一般的に症状は軽く、通常3日程度で治る病気ですが、まれに高熱がつづいたり、血小板減少性紫斑病・急性脳炎といった重い合併症がみられたりすることもあります。

2. 妊娠初期に風しんにかかった場合の症状

妊娠初期の女性が風しんにかかると、お腹の赤ちゃんに風しんウイルスが感染して、先天性風しん症候群（生まれつき心臓病、白内障、難聴などの障がいがある病気）の赤ちゃんが生まれる可能性が高くなります。感染経路は一緒に生活しているご家族からうつることが多いため、ご家族が風しんにかからないよう、ワクチン接種をしておくことが大切です。

3. 風しんワクチンおよび麻しん風しんワクチン（MR）の効果

風しんワクチン、麻しん風しんワクチン（MR）を接種することによって95%以上の方が免疫を獲得します。しかし、いつまで免疫が持続するかについては、獲得した免疫の状況や、その後の周りでの流行の程度によって異なります。麻しん風しん混合ワクチン（MR）は、麻しんも一緒に予防できます。麻しん風しん混合ワクチン（MR）で受けることをお勧めします。



4. ワクチンの副反応

1) 風しんワクチンの副反応

子どもを対象としたこれまでの調査では、接種後5～14日の間に発熱、発しん、リンパ節のはれが報告されています。しかし、通常数日の経過で自然によくなります。大人にワクチンを接種した場合、子どもに比べると、関節痛の頻度が高いと言われていますが、この場合も数日から1週間程度で自然に治ります。

2) 麻しん風しん混合ワクチン（MR）の主な副反応

主な副反応は発熱や発しんです。これらの症状は、接種後5～14日の間に多く見られます。接種直後から翌日に過敏症と考えられる発熱、発しん、かゆみなどがみられることがありますが、これらの症状は通常1～3日でおさまります。ときに、接種部位の発赤・はれ・しこり・リンパ節のはれ等がみられることがありますが、いずれも一過性で通常数日中に消失します。

1) 2) 共通の副反応

まれに生じる重い副反応としては、アナフィラキシー様症状（ショック症状、じんましん、呼吸困難等）、急性血小板減少性紫斑病（紫斑、鼻出血、口腔粘膜の出血等）、脳炎、けいれん等が報告されています。接種後30分間は、接種を受けた医療機関とすぐ連絡をとれる状態にしておきましょう。

裏面もあります

5. 接種を受けることができない人

1) 妊娠している人 および 妊娠している可能性のある人

※ワクチン接種後は少なくとも2カ月間の避妊が必要です。

万が一、ワクチンを接種した後に妊娠が分かった場合は、かかりつけの産婦人科の先生にご相談ください。なお、これまで世界的に見ても、ワクチンによる先天性風しん症候群の患者さんの報告はありませんが、その可能性が否定されているわけではないので、接種前の注意が必要です。

2) ワクチン接種をする3カ月以内にガンマグロブリン（血液製剤の一種で、重症感染症の治療などに使われます）の注射あるいは輸血を受けたことがある人

※上記の方は免疫が十分にできませんので、接種を受けることを延期する必要があります。また、大量のガンマグロブリンの注射を受けたことがある人は、6カ月程度延期する必要があります。

3) 接種直前の体温が37.5℃以上の人

4) 重い急性の病気にかかっている人

5) 風しんワクチン または 麻しん風しん混合ワクチン（MR）に含まれる成分で、アナフィラキシーという重いアレルギー反応を起こしたことがある人

6) 接種医が接種しない方がよいと判断した人



6. 接種を受けるときに注意が必要な人

（接種にあたっては、かかりつけ医と相談する必要があります。）

1) 心臓血管系、腎臓、肝臓、血液系等の病気、悪性腫瘍、発育障がいなど何らかの病気がある人

2) これまでの予防接種で2日以内に発熱が見られた人、またはアレルギーを疑う症状が見られた人

3) これまでにけいれんを起こしたことがある人

4) これまでに免疫機能に異常があると言われたことがある人

5) 風しんワクチン、麻しん風しん混合ワクチン（MR）に含まれる成分でアレルギーを起こすおそれのある人

6) 薬や食べ物でアレルギーを疑う症状（全身の発しんやじんましんなど）がみられた人

7) 接種当日の体調が普段とちがう人

8) 家族や周りで最近1カ月以内に麻しん、風しん、水ぼうそう、おたふくかぜにかかったことがある人がいる場合

9) 最近1カ月以内に何か病気にかかったことがある人



7. その他

・ワクチンを接種した人ののどから接種1～2週間後にワクチンウイルスが出てくるありますが、周りの人にうつることはありませんので、妊婦さんの家族の方が接種を受けても心配はありません。

・予診票はこれまでの様子を知るための重要な情報ですので、正しく記入しましょう。

・接種当日、入浴は可能ですが、接種部位を清潔に保ち、はげしい運動をひかえ、体調

